

令和7年度 第2回学校運営協議会議事録

さいたま市立新開小学校

1 日 時

令和7年11月17日(月) 10:15~11:50

2 場 所

会議室

3 参加者

	氏 名 (ふりがな)	性別	役職等
1	林 大悟 (はやし だいご)	男	青少年育成新開地区会副会長
2	小林 喜雄 (こばやし よしお)	男	青少年育成新開地区会相談役
3	前田 三恵子 (まえだ みえこ)	女	青少年育成新開地区会副会長
4	田中 輝明 (たなか てるあき)	男	ラミーユ浦和防犯ボランティア
5	屋代 光昭 (やしろ みつあき)	男	新開自治新和会長
6	宮田 隆司 (みやた りゅうじ)	男	桜田2丁目防犯ボランティア
7	小島 美穂子 (こじま みほこ)	女	新開2丁目防犯ボランティア
8	岡田 久美子 (おかだ くみこ)	女	新開小学校図書ボランティア会長
9	坂下 三浩 (さかした みつひろ)	男	新開小学校 PTA 会長
10	岡田 健彦 (おかだ たけひこ)	男	校長
11	河村 竜助 (かわむら りょうすけ)	男	教頭
12	霜垣 良輔 (しもがき りょうすけ)	男	教務主任
13	猪腰 義文 (いのこし よしふみ)	男	学校地域連携コーディネーター

欠席者

1	大貫 充 (おおぬき みつる)	男	青少年育成新開地区会会長
2	鶴澤 仁美 (つるさわ ひとみ)	女	新開小学校前 PTA 副会長

4 次 第

- (1) 校長あいさつ
- (2) 開会の言葉
- (3) 「よりよい学校づくり」等に向けた児童からの提案
- (4) 児童からの提案を受けた熟議

「児童、保護者、地域、教職員が『学校を運営する当事者』となるために、学校運営協議会としてどのような働きかけができるか」

(5) 諸連絡

- ・令和7年度学校関係者評価について（教務から）
- ・学校公開(しびらきっ子 子どもまつり)のご案内
- ・創立50周年記念事業について
- ・東トイレ改修事業について
- ・学校地域連携 CO からの連絡
- ・今後の予定 第3回学校運営協議会 令和8年2月17日（火）

(6) 開会の言葉 会長

5 【議事詳細】

議 事	発 言 者	発 言 内 容 ・ 回 答 等
1 挨拶	校 長	<p>時候の挨拶と第2回の学校運営協議会にご参加頂いた事への謝辞を述べる。</p> <p>今回の熟議での課題を出して頂き次年度に反映させて頂きたいと思います。さて、昨年より子ども基本法の制定の主旨を踏まえ子どもの意見を学校運営協議会に反映させる様にしております。</p> <p>今日も子供たちの提案があるのでどんな提案があるのか楽しみです。どうぞ忌憚のないご意見をお願いします。</p>
2 議 事		
「よりよい学校づくり」等にむけた児童からの提案	教 頭	<p>「よりよい学校づくり」に向けた児童からの提案 児童代表者 企画委員長6年2組十河柚夏さん 副委員長6年1組中村大和君から2つのテーマについてのプレゼンテーション。</p> <p>1. 「学習発表会」についての提案 子供たちの自主活動の中での発表の場を作って頂きたい。 例＝合唱・演奏・ダンス・劇等々</p> <p>2. 「地産地消」などを利用した地域の方からのプレゼントについての提案 例＝「しびらきベーカリー」や しびらきファームの「いちご」等をお金とチケットを交換し、食べる。</p>
熟議 『子供からの提案を受けた熟議』	司 会 林 会 長	<p>熟議内容</p> <p>1, 課題：学校のカリキュラムに入るか時間数など現状では難しい（昔の学芸会に準じるものか？） 年度末に授業参観で学習発表会を行っている学年、クラスもある。どういう内容や規模ですのか（誰が、誰に、何処で、単年・毎年か？） 主体は子供で行いたい。観るのは全員か？ 案：参加者 希望する子 グループ等 場 しびらきっ子まつり。50周年行事。敬老会等。 対象 児童、保護者、地域に対して。 発信 未定。</p> <p>2, 課題：プレゼントをただもらうだけでは意味がなく、子どもが考える、成長するという効果はない。 案：パン+いちご+児童アイデア(メニュー開発)・調理・販売（仮称しびらきっ子パン等）等ができれば体験学習と</p>

		<p>なる。</p> <p>今後、児童会とベーカリースタッフがコラボしてパンを作り50周年記念事業で一人一人に配る等。</p> <p>又は卒業記念品として配る等様々な事が考えられる。</p> <p>※5年生は現在しびらき米の田植えから稲刈りまでを体験学習しており、大変な教育効果を上げている。</p> <p>※今後、50周年記念事業へ引く継いで検討していくことで全会一致で終了。</p>
令和7年度 学校関係者 評価について	教務 霜垣	<p>・令和7年度学校評価について</p> <p>資料による学校評価の中間値を説明。</p> <p>概ね昨年と同じ数値であった。昨年度の課題であった『施設の有効活用』『指導と評価の一体化』『教育相談』『コミュニティースクール』に関する評価についてもA評価の割合が向上した。</p>
	田中様	<p>子供会についての運営現状は年々少なくなっているが子供会の組織を活かして、挨拶の運動等を進めて欲しい。</p> <p>挨拶は家庭から。大人は何度も何度も声かけすることが大事では。</p>
	小林様	<p>朝、毎日校門前の信号機に立って子供たちに声かけすると「学校が楽しい」と返ってくる。不登校の児童は少ないのではないか。</p>
	校長	<p>現在8名の不登校の該当者がいるが、全て状況を把握し対応している。</p>
	岡田様	<p>学習の取り組みは昨年同様C評価が多いと思うが子供を持つ保護者としてどこまで先生に見て頂けるのか、保護者はどこまで求められるのか、大変に迷っている。教えていただければありがたい。</p>
	教務	<p>それぞれの児童の状況に応じて対応は異なるが、相談してほしい。</p>
	屋代様	<p>教職員のアンケートの学習指導について、問題解決に向け個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に取り組んでいる。の説明にC評価が昨年より増えているが、どのような状況か。</p>

	校長・教頭	本校は現在、学校課題として教科横断的な学習に重点を置いて取り組んでいるため、個別最適な学びと協働的な学びの推進は今後の課題と考えている。個別最適な学びは個々の子供が学習ツールで自己評価をする取り組みを実施している。各自が自らの課題をもち、個々の目標達成に向けて取り組むことで学力向上につなげていきたい。
諸連絡	教頭	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開のご案内 ・創立50周年記念事業について ・東トイレ改修工事について ・次回開催予定 <p style="margin-left: 40px;">日時 令和8年2月17日(火)</p> <p style="margin-left: 40px;">場所 本校 会議室</p>
閉会の言葉		

※

閉会后、体育館へ移動して『4年生による小・中音楽会発表曲の演奏』の鑑賞、授業参観。